

お知らせ



国土を **整**え、全力で **備**える

国土交通省
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

情報提供先 : 出雲市政記者クラブ
島根県政記者会
米子市政記者クラブ

水質事故に万全の体制で備えます

～斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会（事故部会）

及び水質事故対策訓練の開催～

【水質事故訓練実施状況（飯梨川）】 ※湯谷川（河口水門上流）では、平成22年にも水質事故対策訓練を実施しています。



＜ボートによるオイルフェンス展張＞



＜国土交通省班によるオイルフェンス展張＞



＜救命索発射銃によるオイルフェンス展張＞

斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会は、国土交通省出雲河川事務所、鳥取・島根両県、流域市町や関係機関で組織し、斐伊川水系の水質保全の取り組みや水質事故の抑止・処理対策などの活動を行っています。

近年、斐伊川水系においては、水質事故が多発傾向にあり、平成26年度は55件発生しています。

これから冬場を迎え暖房用燃料の取扱いや車両のスリップ事故なども増えて水質事故へつながることが心配されるところです。

そこで、水質事故への対応を担当する「水質事故部会」を島根県内水面技術センターで開催し、関係機関相互の連絡調整や広報などについて協議します。また、会議後、出雲市平田町を流れる湯谷川を会場に、油の流出を想定したオイルフェンス等の展張訓練などを実施します。

◎開催日時・場所

平成27年11月12日（木） 13:30～16:00

■ 水質事故部会（13:30～14:30）

島根県内水面技術センター（研修室）

出雲市園町沖の島1659-1

■ 水質事故対策訓練（14:45～16:00）

出雲市平田町地先 湯谷川（湯谷川河口水門上流河川敷）

（概要については別紙実施要領をご覧ください。）

問い合わせ先



国土交通省

斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会 水質事故部会
（事務局：国土交通省出雲河川事務所 管理第一課）

管理第一課長

灘脇 篤郎

建設専門官

西村 徳之

電話：0853-21-1850【代表】

電話：0853-20-1765【直通：管理第一課】

平成27年度 水質事故対策訓練

実施要領

1. 目的 河川等の公共用水域で水質事故が発生した場合、その被害を最小限に食い止めるためには関係機関が密接な連携のもと迅速かつ的確な対策を行なわなければならない。
そのためには、日頃から関係機関相互の緊密な情報伝達体制を構築しておくとともに、水質事故処理に関する知識や実践的現場対応能力を身につけておくことが必要である。
国土交通省、県、市町及び関係機関で構成する「斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会水質事故部会」は、今後の水質事故対応に万全を期すため水質事故対策技術の習得・錬磨を図ることを目的に水質事故対策訓練を実施するものである。
2. 主催 斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会 水質事故部会
3. 日時 平成27年11月12日(木) 14:45~16:00(雨天決行)
4. 場所 出雲市平田町地先 湯谷川河口水門上流河川敷
5. 参加機関 国土交通省 出雲河川事務所
海上保安庁 境海上保安部
鳥取県 消防防災課、水・大気環境課、河川課
西部総合事務所 米子県土整備局、生活環境局
鳥取県警 生活環境課、米子警察署、境港警察署
島根県 消防防災課、環境政策課、河川課、下水道推進課
宍道湖流域下水道管理事務所、
松江、雲南、出雲各県土整備事務所及び各土木事業所
松江、雲南、出雲各保健所
島根県警 生活環境課、松江、安来、雲南、出雲各警察署
市 町 米子市、境港市
松江市、出雲市、安来市、大田市、雲南市
奥出雲町、飯南町
消 防 鳥取県西部広域行政管理組合消防局
松江市、出雲市、安来市、雲南各消防本部
そ の 他 島根県企業局 東部事務所
斐川宍道水道企業団
西日本高速道路(株)中国支社 松江高速道路事務所

6. 訓練内容 ① ロープワーク (参加者全員対象)

- ・ 出雲市消防本部の実技講習

事故現場で使用する主なロープワークとその特徴、用途の習得。

② 湯谷川への油流出を想定したオイルフェンス等の実地展張訓練

- ・ 班編制

第1班 (出雲市消防本部)

第2班 (島根県出雲県土整備事務所・宍道湖漁協)

第3班 (出雲市)

第4班 (国土交通省 出雲河川事務所)

- ・ 渡河方法及び使用資材

第1班 〈救命索発射銃〉＋〈オイルフェンス〉

第2班 〈モップ型吸着フェンス〉

第3班 〈万国旗型吸着マット〉

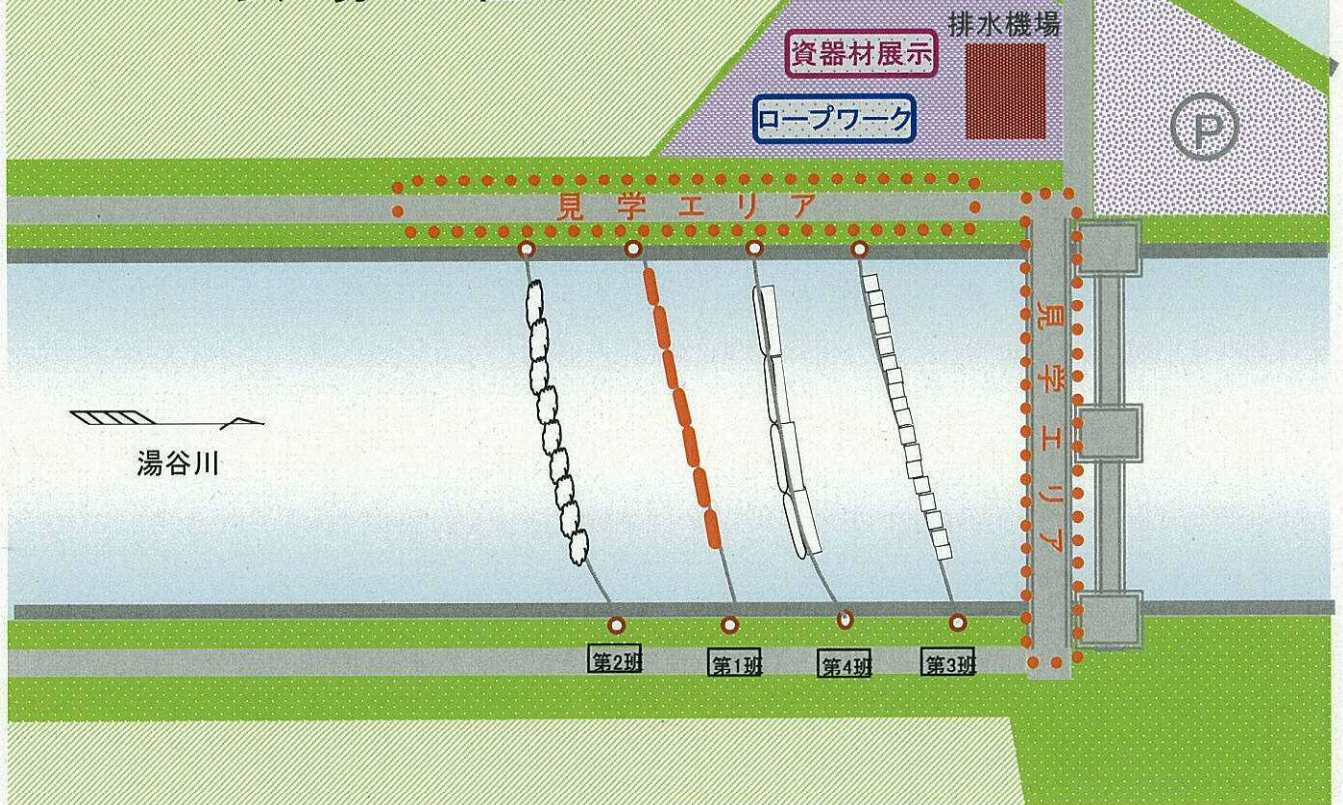
第4班 〈投げ竿〉＋〈フェンスマット型吸着フェンス〉

③ メーカー代理店による事故処理資材の展示及びデモンストレーション

| | | |
|---------|-------------|-------------------------------|
| 7. 訓練日程 | 14:45 | 開会 |
| | | ・ 開会のあいさつ 出雲県土整備事務所 維持管理部長 |
| | | ・ 訓練概要の説明 |
| | 14:50～15:05 | ロープワーク |
| | 15:05～15:45 | 実地展張訓練と解説 |
| | 15:45～16:00 | 事故処理資材の学習 |
| | 16:00 | 閉会 |

8. 会場の配置 別紙「会場配置図」のとおり

会場配置図



訓練概要

訓練は、湯谷川に油が流出したとの想定で油の流下防止と回収を目的とし、上流側の第2班から順次対策を実施する。

| 班名 | 実施機関 | 訓練内容 | 展張要領 | 使用資器材 |
|-----|-------|----------------|---|---|
| 第1班 | 出雲消防 | オイルフェンス | ① 左岸から救命索発射銃によりリードロープを対岸に渡す ② リードロープで「オイルフェンス」を展開する、この時もう1本リードロープを渡す ③ 両端を杭に結束し固定する | ・オイルフェンス ・救命索発射銃 ・リードロープ、結束ロープ、杭、土のう、鎌、ハンマー等 |
| 第2班 | 島根県漁協 | モップ型吸着フェンス | ① 漁船で左岸から対岸に「モップ型吸着フェンス」を展開する ② 両端を杭に結束し固定する | ・モップ型吸着フェンス ・漁船 ・結束ロープ、杭、かけや、鎌、ハンマー等 |
| 第3班 | 出雲市 | 万国旗型吸着マット | ① 水門管理橋を渡りリードロープを渡す ② リードロープを利用し「万国旗型吸着マット」を展開する ③ 両端を杭に結束し固定する | ・万国旗型吸着マット ・リードロープ、結束ロープ、杭、土のう、鎌、ハンマー等 |
| 第4班 | 国交省 | フェンスマット型吸着フェンス | ① 投げ竿を利用し、リードロープを対岸に渡す ② リードロープを利用し「フェンスマット型吸着フェンス」を展開する ③ 両端を木杭に固定し、設置完了 | ・フェンスマット型吸着フェンス ・投げ竿 1式 ・リードロープ、結束ロープ、木杭、かけや、土のう、鎌等 |

※ 各班作業員は、全員ヘルメット、救命胴衣を着用すること。